

# 抄遊

「元氣じゃあ、ありかを探り、様々な今  
ったか」と会 後の可能性を組み立てて  
う度に声をか は壊し、また作るの繰り返り  
けてくれた鹿 返し。思いやりの笑顔こ  
児島弁が懐か そ、実は、鋭い人間観察  
しい。昨年十一月に七十 力の上に成り立っている  
歳で亡くなった日本経団 のだと感じた。

連の前事務総長。和田龍  
幸さんは高校（鹿  
児島ラ・サール）、  
太学（慶応）と共に  
に先輩であり、私  
の記者時代（西日  
本新聞）にアボな  
しでも対応してく  
れる唯一の経済人  
だった。

## 英語

宏  
焼酎との付き合い  
も忘れがたい。経  
団連ビル三階の食  
堂で主催する「芋  
の会」に呼んでく  
れ、在京の記者、  
経団連の職員、企  
業幹部の皆さんに  
「おいの後輩じゃ  
う」と紹介して  
いただいた。もう

## か

田  
「おいの後輩じゃ  
う」と紹介して  
いただいた。もう

政界と財界のパ  
イプ役、幅広い交  
友関係、気さくなお人柄  
など多くの方が働ぶ通  
り、相手への「思いやり」  
を最も大切にされる生き方  
を教えられた。

黒衣役に徹するとい  
うが、実際には生易しい話  
ではない。張り巡らした  
情報網から瞬時に真実の  
ひろし（福岡市長）

十年以上も前の話だ。  
終生のテーマだったシ  
ェイクスピア。今頃は偉  
大な劇作家と古今東西の  
人間観察について語り合  
っているに違いない。焼  
酎片手にかごんまインク  
リッシュで。（よしだ・